

徳島大学体操部

あなたも大車輪にチャレンジ!.....今からでも始められます



主将 工学部機械工学科2年 田中 康浩 たなか やすひろ

四国インカレでは常に上位

今年7月の四国インカレ(四国地区大学総合体育大会)で団体優勝した体操部。出場は5団体。徳大はベテランのAチームと新人中心のBチームで参加しました。優勝したのはAチーム。この大会では毎年1、2位という成績をあげています。また女子は今年個人8人中4位でした。



インカレ直後に主将が交替します。主将に就任したばかりの田中さんは、新たに13名の部員(3年3名、1・2年10名、うち女子は1年2年それぞれ1名ずつ)を率いて、今年初めて参加する10月の中四国インカレに、

練習の指導に余念がありません。「1年生にとっては大変ですが、3位以内をめざしてがんばります」と意欲満々です。

入学してからも大丈夫

田中さんは高校の時から体操をやっていたが、大学に入ってから始める人も結構いるそうです。

「中学や高校でやりたくても体操部があるところは少ないんです。それで大学に入ってから始める人も多いんです」

工学部機械工学科1年の浅野雅(たにし)さんは高校では陸上部でした。「違うスポーツにチャレンジしてみたくて入部しました。バク転が少し出来るようになって楽しいです」

工学部電気電子工学科2年の岸田直久(なおひさ)さんは中学高校とサッカーをやっていました。「大学に入ってバドミントンやソフトテニスをやっていたんですが、体操



は今しかできないと思って去年の10月に入部しました。今までの運動と違い慣れない部分を使うので、なかなかうまくいきませんが、やってよかったです」

楽しくのびのびと練習

練習場となっている常三島体育館では猛暑の中、1・2年生が10月の中四国インカレめざして練習に励んでいました。鉄棒や平均台、吊り輪など転落による事故もありうるため、指導する田中さんも真剣です。しかし練習以外の時はわ



く、見学大歓迎で、入部してみたい方や興味のある方はぜひどうぞ。

きあいあい。徳大体操部の良いところは、上下関係を意識せずのびのびと楽しくやれるところだそうです。先輩やOB、時には外部練習場を使用する際にその指導員が教えてくれることもあります。

年間スケジュールを紹介します。春には新入生歓迎会。7月のインカレ。夏休みの合宿(外部施設を使用)、10月には今年から中四国インカレに参加します。12月にはクリスマス会や忘年会、1月には新年会、2月には追コンがあります。

練習は常三島体育館において火曜日(午後5~9時)、木曜日(午後4~7時)、土曜日(午後3~7時、時々外部施設で行う場合あり)となっています。

見学大歓迎で、入部してみたい方や興味のある方はぜひどうぞ。

ヘルスケア

骨密度、貧血と生活習慣

保健管理センター 臨床検査技師 佐藤 八重子 さとう やすこ

保健管理センターでは、この4月より超音波踵骨測定装置「A-1000 EXPRESS」と採血不要で貧血検査ができる末梢血管「アストリム装置」アストリムSUを導入しました。近年、骨粗鬆症は単なる老化現象ではなく、高血圧、高脂血症などと同様に生活習慣病としてとらえられています。思春期からの食習慣や運動習慣などが更年期以降の骨粗鬆症を予防できると考えられます。

「A-1000 EXPRESS」について

検査時間は2分程度で超音波を用いて、踵の骨の状態を評価します。踵の骨は人間の骨の中でもっとも海綿質が多い部分であり、腰椎、大腿骨より先に骨の減少を捉えることができます。また骨量は10代後半から20

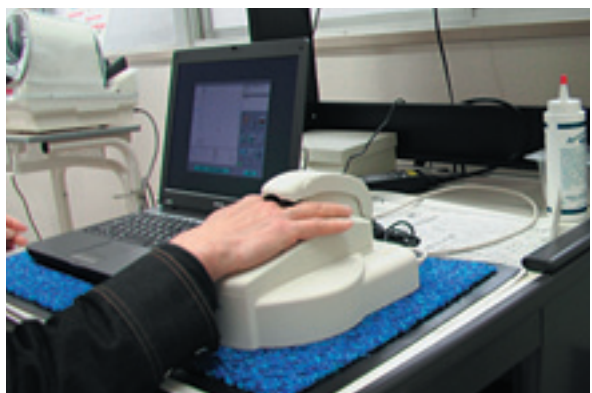
「アストリムSU」について

プローブに指をいれると約20秒でヘモグロビン量が測定できます。近赤外光による末梢血管の透過画像に基づいて測定値を算出しています。貧血の症状は、よくいわれるめまいや動悸、息切れだけではありません。全身の組織に酸素が足りなくなるこ

とで様々な体の不調となって現れます。気軽にヘモグロビン量を測ることで早めの貧血予防、食生活の改善に役立ててください。また、スポーツ選手のコンドিশョン管理にも最適です。ヘモグロビン量をモニターングすることでトレーニングの効果や体調の変化を知ることができます。健診業務のない時は、いつでも測定できますので、この機会にぜひご利用下さい。



A-1000EXPRESS



アストリムSU

